

第4回「これからの学生生活をともに考え、見守る研究会」2022/12/9

学生相談から見える コロナ禍の学生の心身の健康と支援課題

名古屋大学学生支援本部
副本部長／教授 鈴木健一

目次

0. 紹介（演者、名古屋大学、学生相談）
1. 学生相談の利用状況（データより）
2. アンケート結果からみる学生メンタルヘルス
3. コロナ禍における学生メンタルヘルスと学生支援
4. まとめ

自己紹介

- 熊本県出身
- 広島大学大学院で臨床心理学を学ぶ
- 1996年 広島大学教育学部助手
- 1999年 特別研究員PD
米国NY市 ホワイト精神分析研究所へ留学
- 2004年 金沢大学で学生相談
- 2011年 名古屋大学学生支援本部にて
学生相談と運営



私の立ち位置

- 対人関係精神分析
- 人は対人関係をのぞんでいる
- 対人関係学派は、人について探求したり理解したりする際に、その個人が関係している環境から離れることはできないと理解する。従って、個人が、社会的対人的世界の文脈の外で理解されることはない。
- 人を理解する方法は、他者との、意識的な関わり、無意識的な関わり、そして、関係を求める際の妨げとなっているものを探究することにある。
- 精神病理を、対人関係の困難から派生したものであると理解する。

名古屋大学学生数 (2022年度)

学部学生 (9学部) 9,525 名

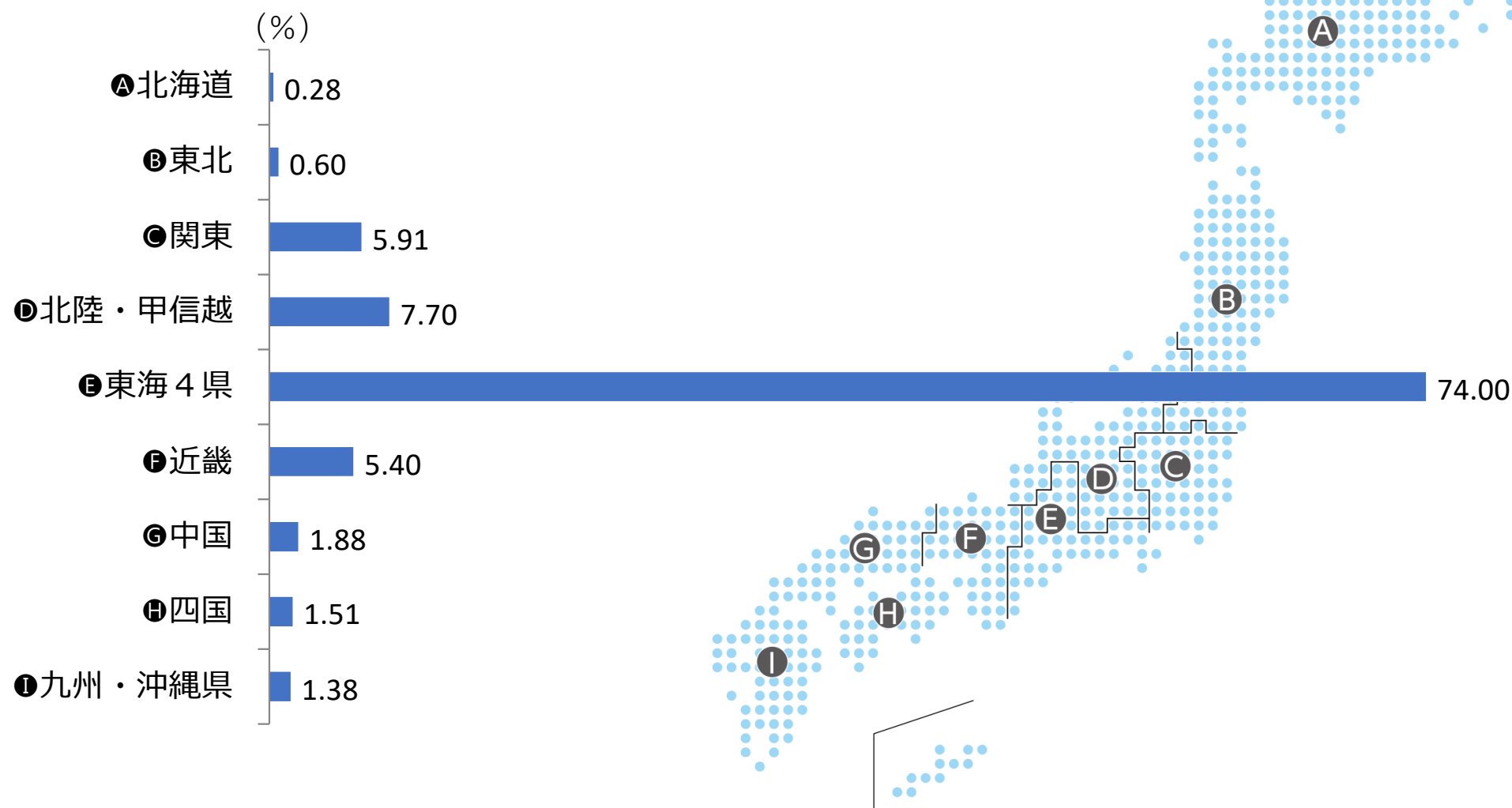
大学院学生 (13研究科) 6,309 名

合 計 15,834 名

名古屋大学の紹介

- 学生数 約1万6千人
 - 学部： 9学部。約1万人。
 - 大学院：13研究科。約6千人。
- 7割強が、愛知・岐阜・三重・静岡（片道1時間半通学）の出身者
- ローカルなユニバーシティ。

2022年度 名古屋大学学部新入生の出身



敷地面積
約

70

万平方メートル



国立大学法人法（2003年10月施行）

第二十二条

国立大学法人は、次の業務を行う。

- 一 国立大学を設置し、これを運営すること。
- 二 学生に対し、修学、進路選択及び心身の健康等に関する相談その他の援助を行うこと。



半世紀前の昭和建造物



令和のリフォーム

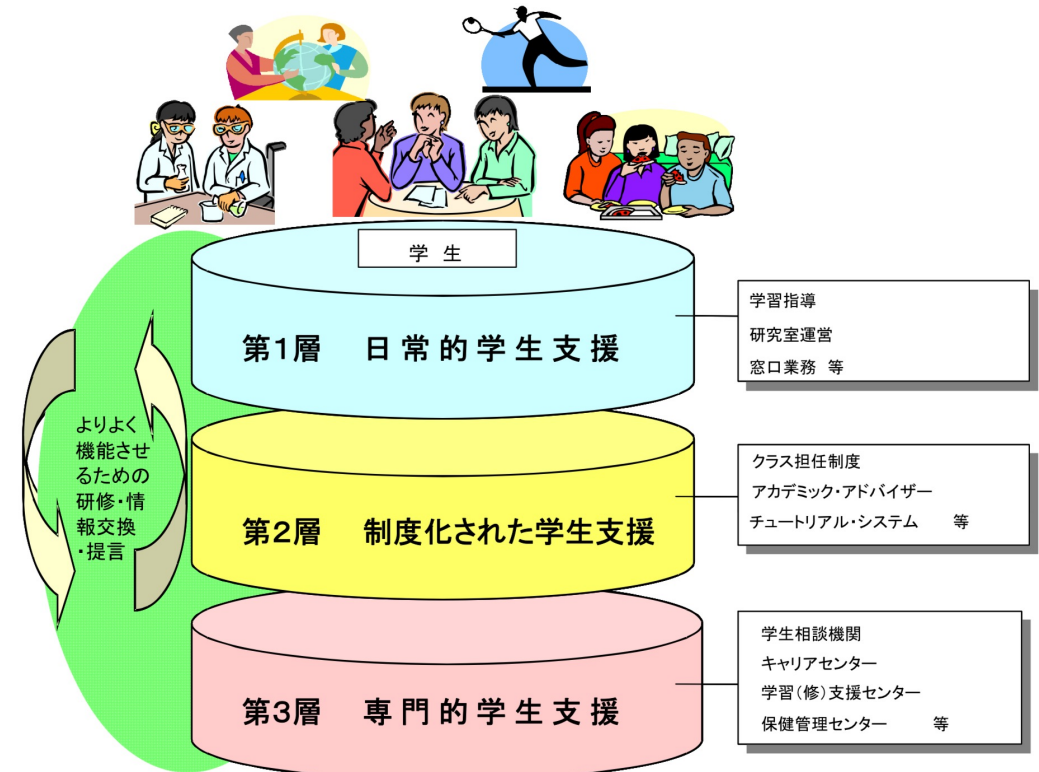


名古屋大学
学生支援本部



学生相談とは

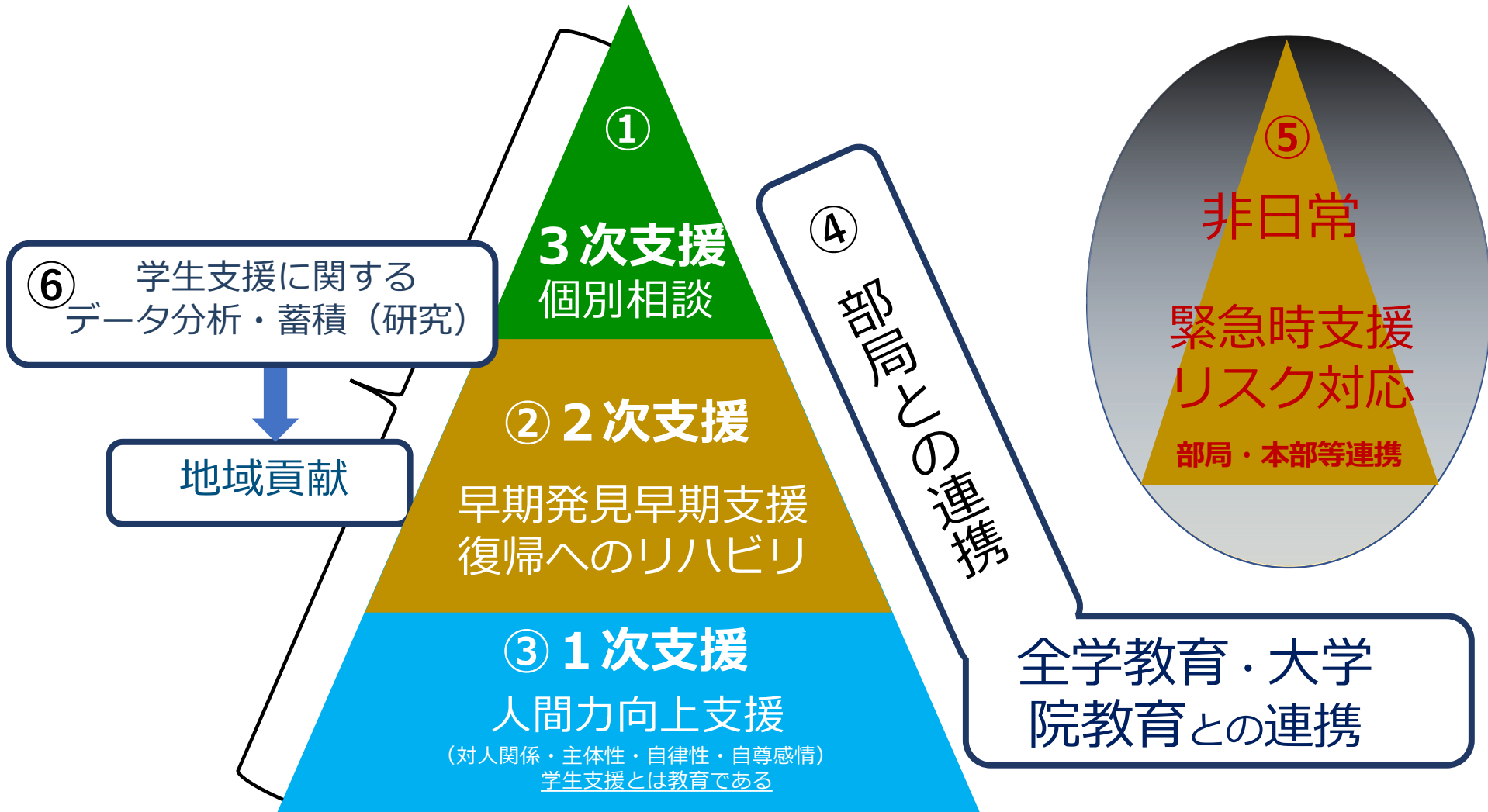
- 1) 教育の一環。すべての教職員と、学生相談カウンセラーとの連携・協働が必要。
- 2) 学生期の課題を抱え、かつ多様化する学生の個別ニーズに応じる。大学全体の学生支援力を強化。
- 3) 3階層モデルによる総合的な学生支援体制。教職員への研修、情報交換等が重要。



(図 1-2) 学生支援の3階層モデル

日本学生支援機構
「大学における学生相談体制の充実方策について」より

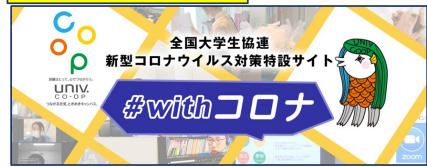
名古屋大学における学生支援 6 機能



大学生協のコロナ禍に学生と寄り添う取り組み

大学生協のコロナ禍の学生アンケート調査・全国大学生サミット、そして「学生生活をともに考え、見守る委員会」の設置への流れ

2020年4月開設



<https://www.univcoop.or.jp/covid19/index.html>

保健管理施設・学生相談室よ

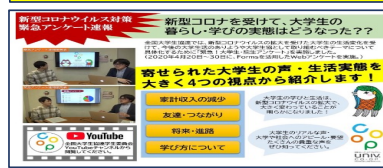


<https://www.univcoop.or.jp/covid19/prevention/index.html>

2020

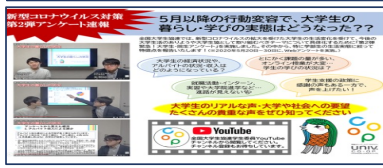
コロナ禍の学生アンケート (Web無記名)

2020年4月20日～30日実施



<https://www.univcoop.or.jp/covid19/enquete/index.html>

2020年5月20日～30日実施

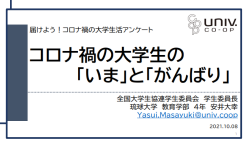


<https://www.univcoop.or.jp/covid19/recruitment/index.html>

2020年7月20日～30日実施



https://www.univcoop.or.jp/covid19/recruitment_thr/index.html

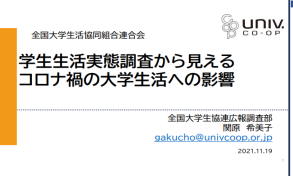


https://www.univcoop.or.jp/event/upload/20211008-05_Tesudai.pdf

4、5、7月に「学生緊急アンケート実施」
6万名超の集約→学生の3つの危機
(暮らし・学び・コミュニティ)が浮き彫りに
に
(大学生協の3つの難局(経営、コミュニティ形成、生協組織)とともに全国総会で定式化)

2020年10月～11月実施

第56回 学生生活実態調査概要報告



https://www.univcoop.or.jp/event/insad/20211119-05_Sekihara.pdf

2021

学生アンケート7,800名 →大変だけではない前向きな学生も
・コロナ禍の大学生活をどうするか、学生の3つの危機の
変容

→全国大学生サミット開催(2021年10月31日)

「良かった」「またやって欲しい」「社会人が見てくれている」・・・(サミットのアンケートより)

→成果を踏まえて、大学生協としてできる事は何だろう?

コロナ禍の学生アンケート (Web無記名)

2021年7月5日～19日実施



https://www.univcoop.or.jp/covid19/enquete/eno_2108.html

2021年10月31日実施



<https://www.univcoop.or.jp/activity/summit/index.html>

2022

2022年2月理事会

理事会委員会として「これからの学生生活をともに考え、見守る研究会」設置を決定

2021年10月～11月実施

第57回 学生生活実態調査概要報告

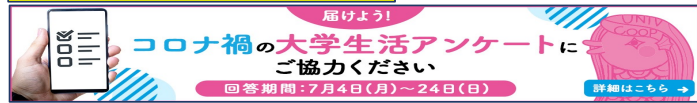
2022年3月実施

「学調」記者発表会

<https://www.univcoop.or.jp/press/life/report.html>

コロナ禍の学生アンケート (Web無記名)

2022年7月4日～24日実施



<https://www.univcoop.or.jp/covid19/survey/index.html>

いま

2022年8月31日実施

「コロナアンケート」記者発表会



全国大学生サミット 開催報告



全国大学生サミット実行委員会
(事務局:全国大学生生活協同組合連合会)

2021年12月作成

2021.10.31 全国大学生サミット
実行委員

全大会・分科会C 『学生相談』
に登壇

分科会C 学生相談 当日の様子

全体会 当日の様子

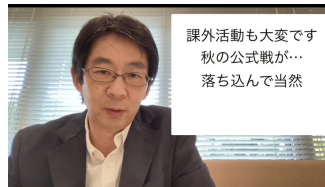
奈良由美子先生(放送大学教授)
東京都新型コロナウイルス
感染対策医療アドバイザー

みなさんは、しなやかに、
工夫しながら、強く、コロナ禍
を乗り越えてきた。
確実に力をつけて、
成長していると思う。



増谷 文生氏(朝日新聞論説委員)

- 大学生が苦しんでいることを大学も社会人の多くも気づき、何かしてあげたいと思っています。
 - ただ、どのように学生にアプローチしたらいいのか、その方法がわからないことがあります。
 - 今回のように、学生側から声を上げることが大切。大学も社会も学生の考えを知りたいのです。
 - SNS上の心ない意見に、あまり影響されなくて。学生同士がつながって強くなりましょう。
- 私を含め大勢の社会人が応援しています！



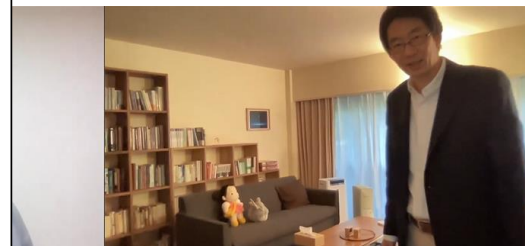
鈴木 健一先生
(名古屋大学教授/カウンセラー)
アメフト部の部長も務めている。

新しい価値観で、
新しい伝統/文化を
作っていきましょう！



それぞれの学生相談
室からライブ中継。

- 札幌学院大
- ・ト部先生(カウンセラー)
 - ・セラピードッグ エースくん(6才)
 - ・仲良しの学生



- 名古屋大学
- ・鈴木先生(カウンセラー)
 - ・相談室現場の様子
ご自宅に見えますが
学生相談室です。

1. 学生相談の利用状況（データより）

Student Services 学生支援本部

Career Services Center キャリアサポート センター

キャリアカウンセラーが就職に関する相談および情報提供を行います。

Student Counseling Center 学生相談センター

臨床心理士・精神科医によるカウンセリング、診察、グループ活動、国際学生との共修支援を行います。

NUSSC

Ability Support Center アビリティ支援センター

障害のあるなしに関わらず、学生の修学支援を行っています。障害学生サポーターの養成や派遣などを行います。



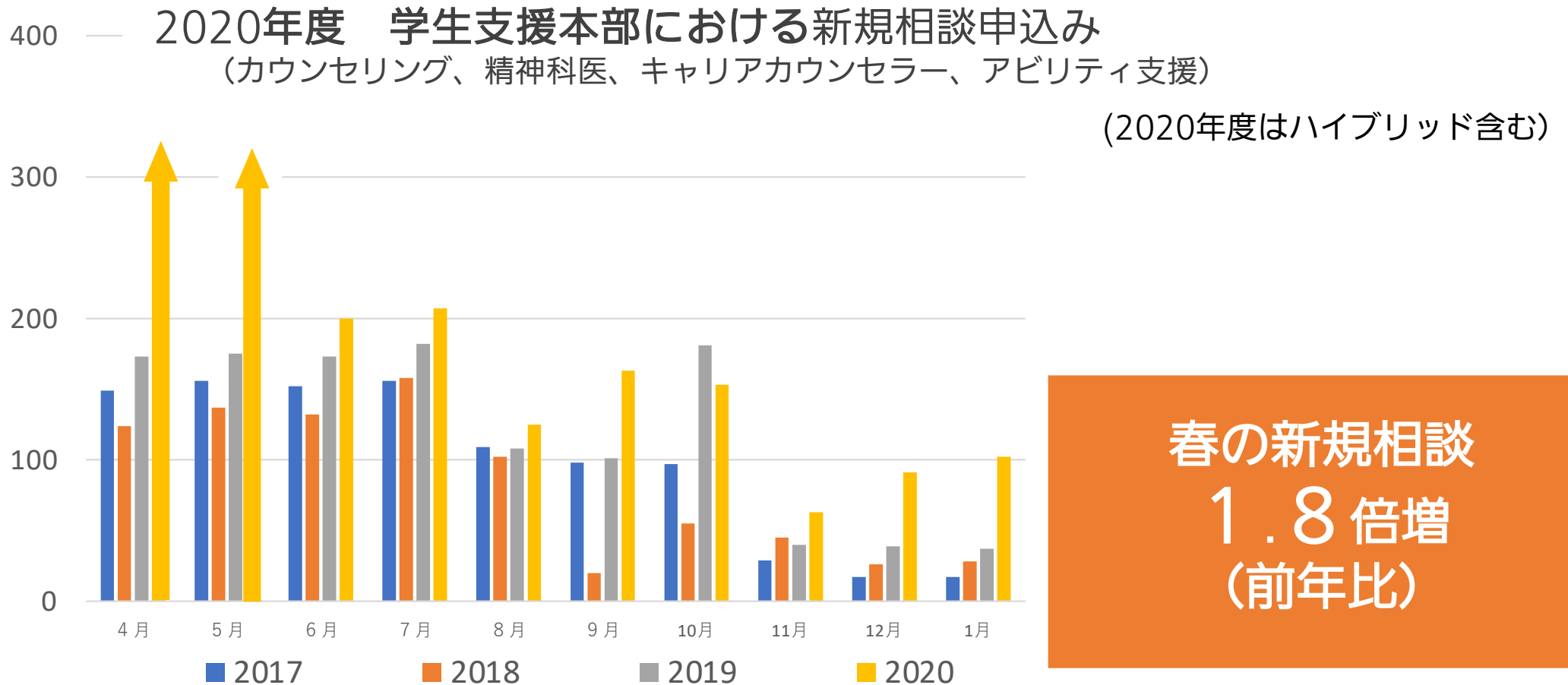
学生支援本部

コロナ禍の学生相談

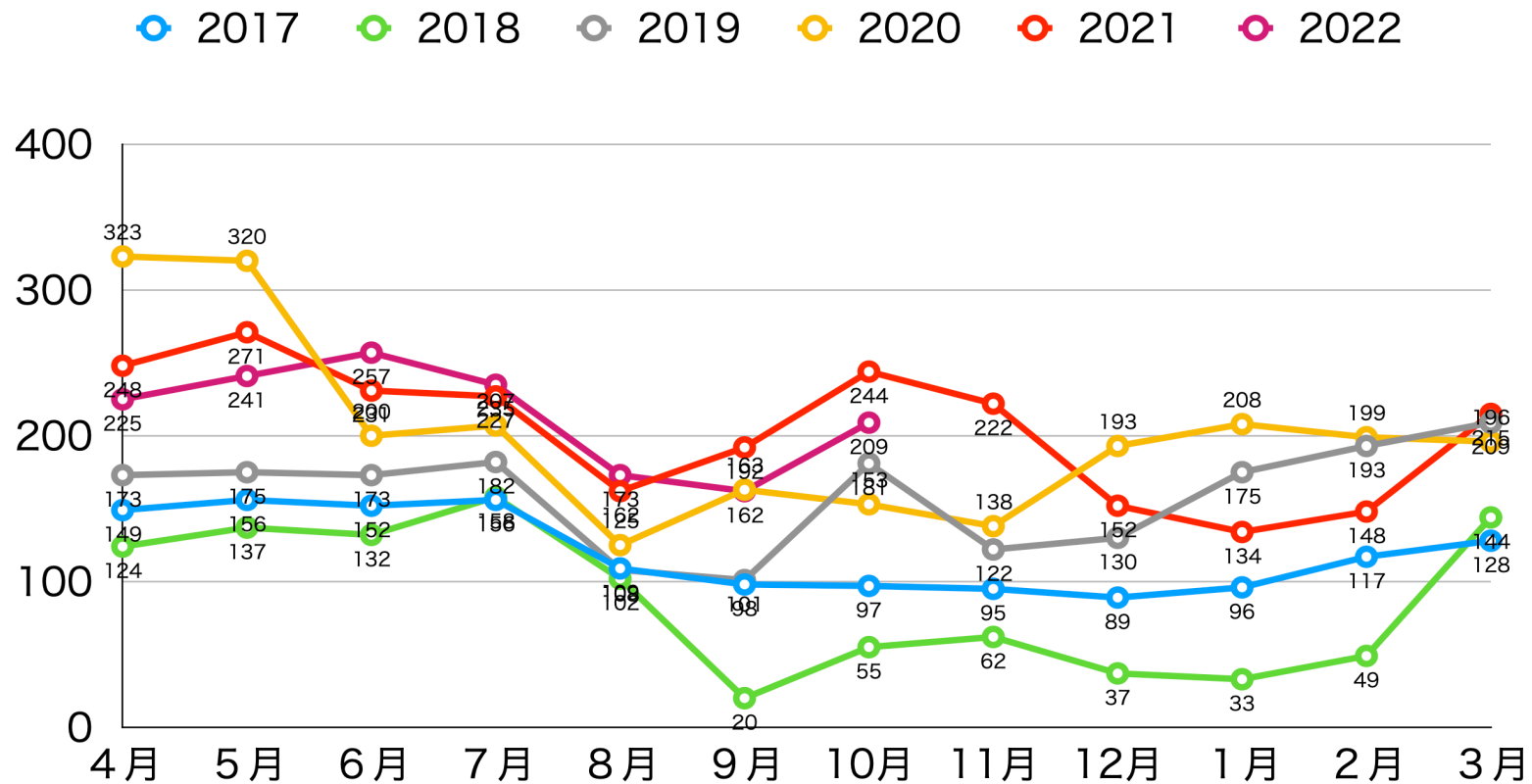
3次支援の場合

- 学生相談を閉じない
- 学生立入禁止の中、執行部が「学生相談は例外」と認める
- 自家用車通勤へ切り替え（一部、テレワーク）
- 専任相談員へ携帯電話の支給
- 電話、メール、オンライン相談も

2020コロナ直後、相談件数が急増

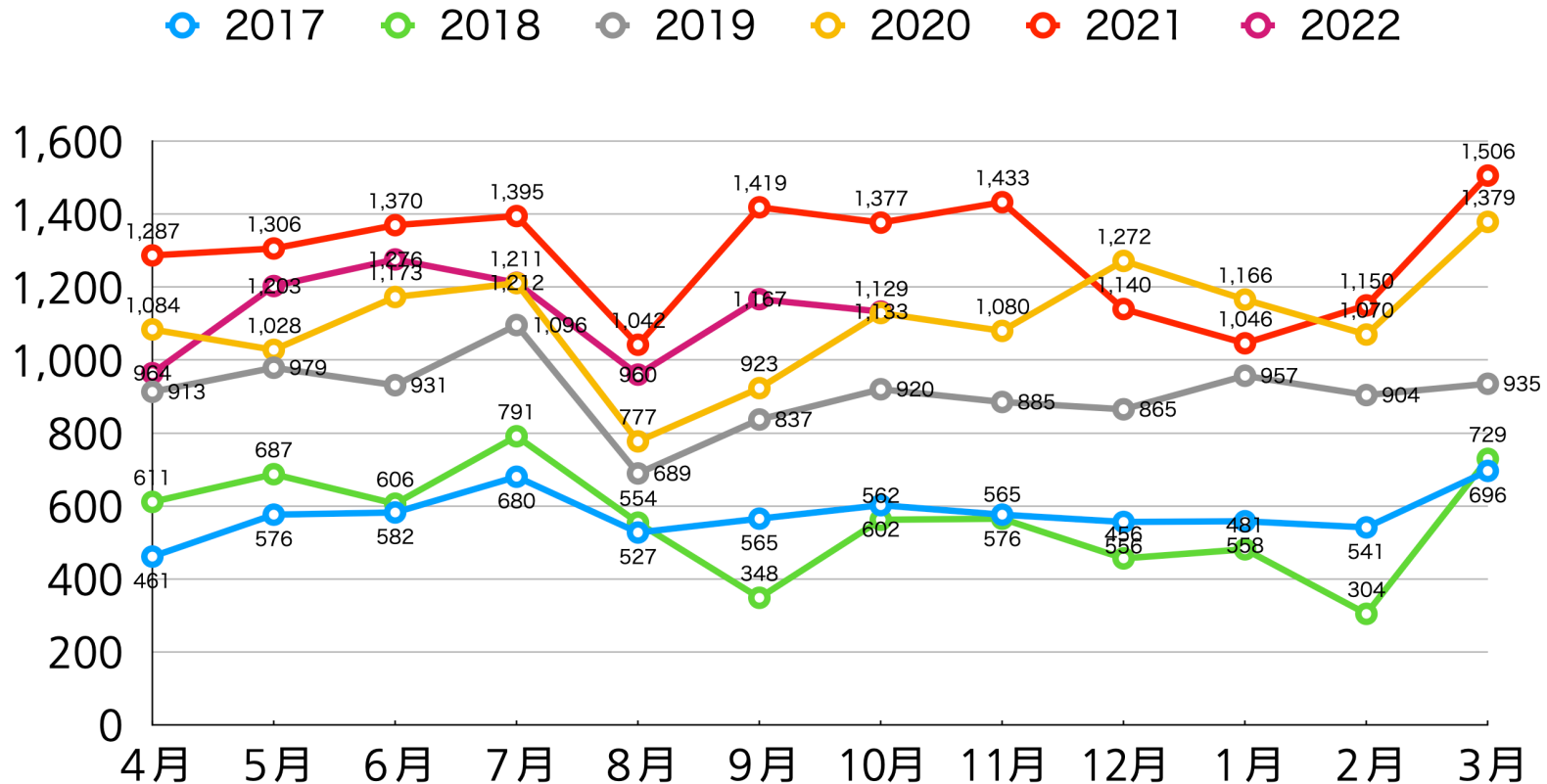


相談申込は2021年度をピークに落ち着く



名古屋大学学生支援本部における新規相談件数

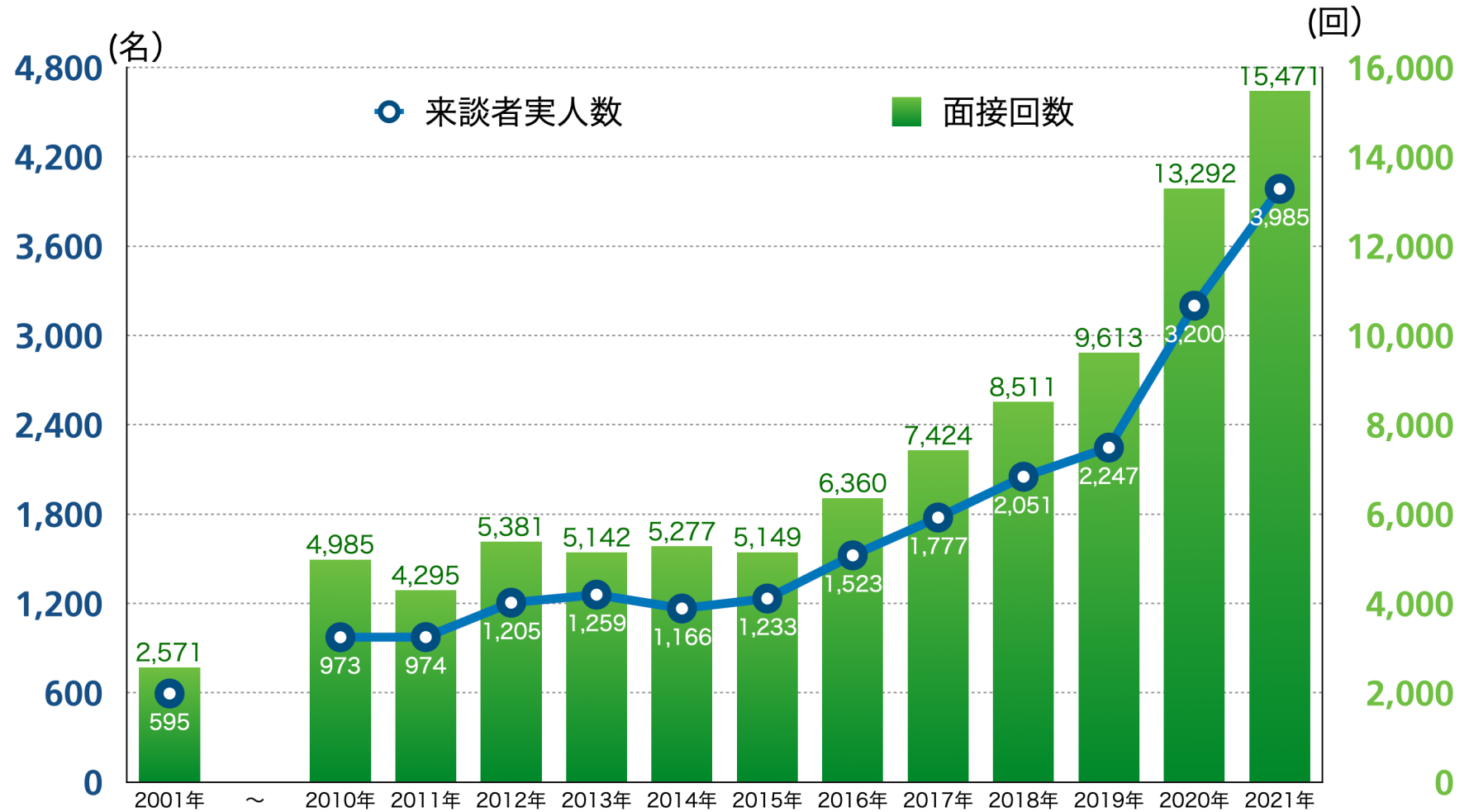
延べ相談回数も2021年度がピーク



名古屋大学学生支援本部における延べ相談回数

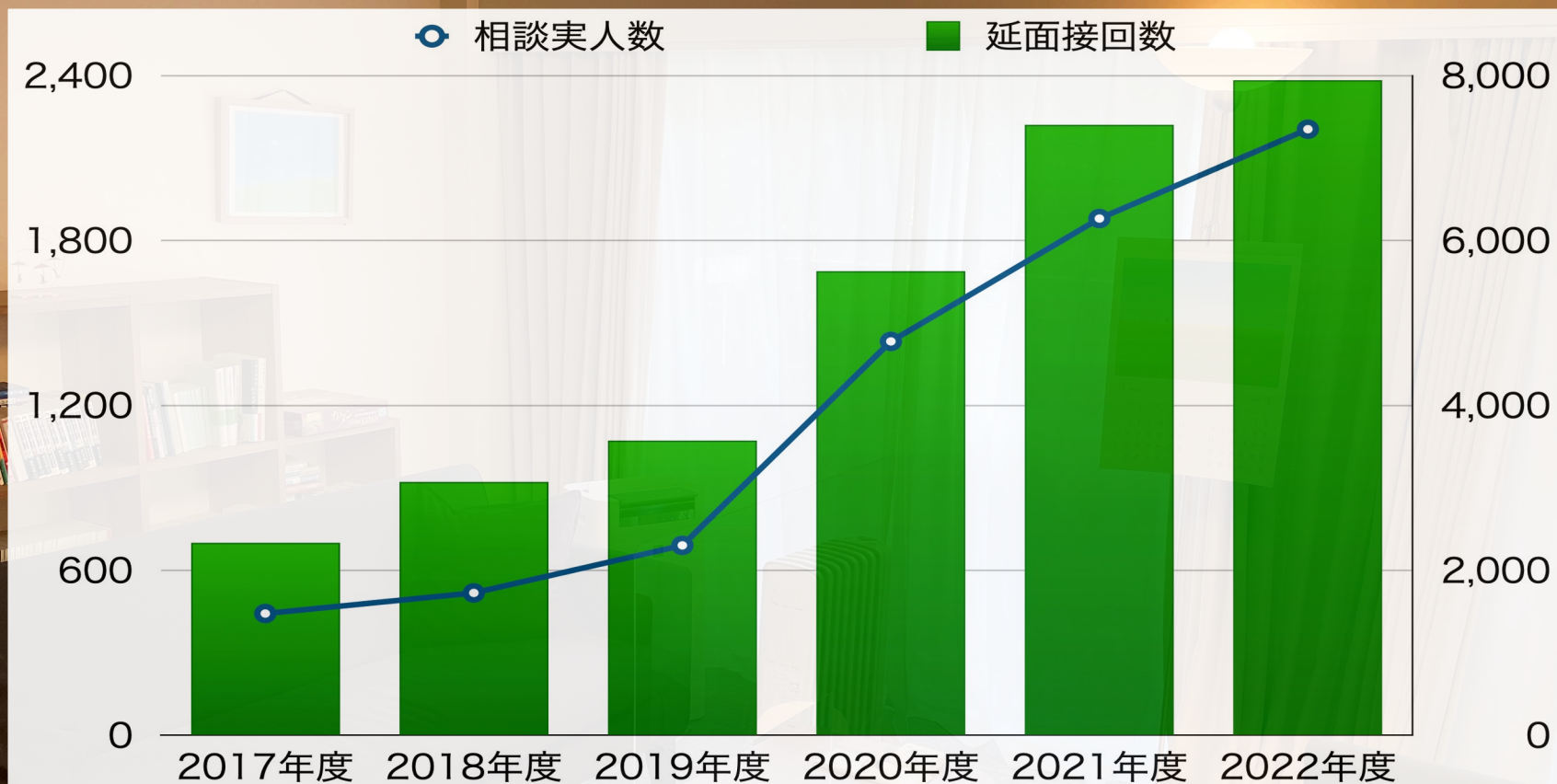
相談実人数と延べ相談回数

(名古屋大学学生支援本部)



コロナ禍の学生相談

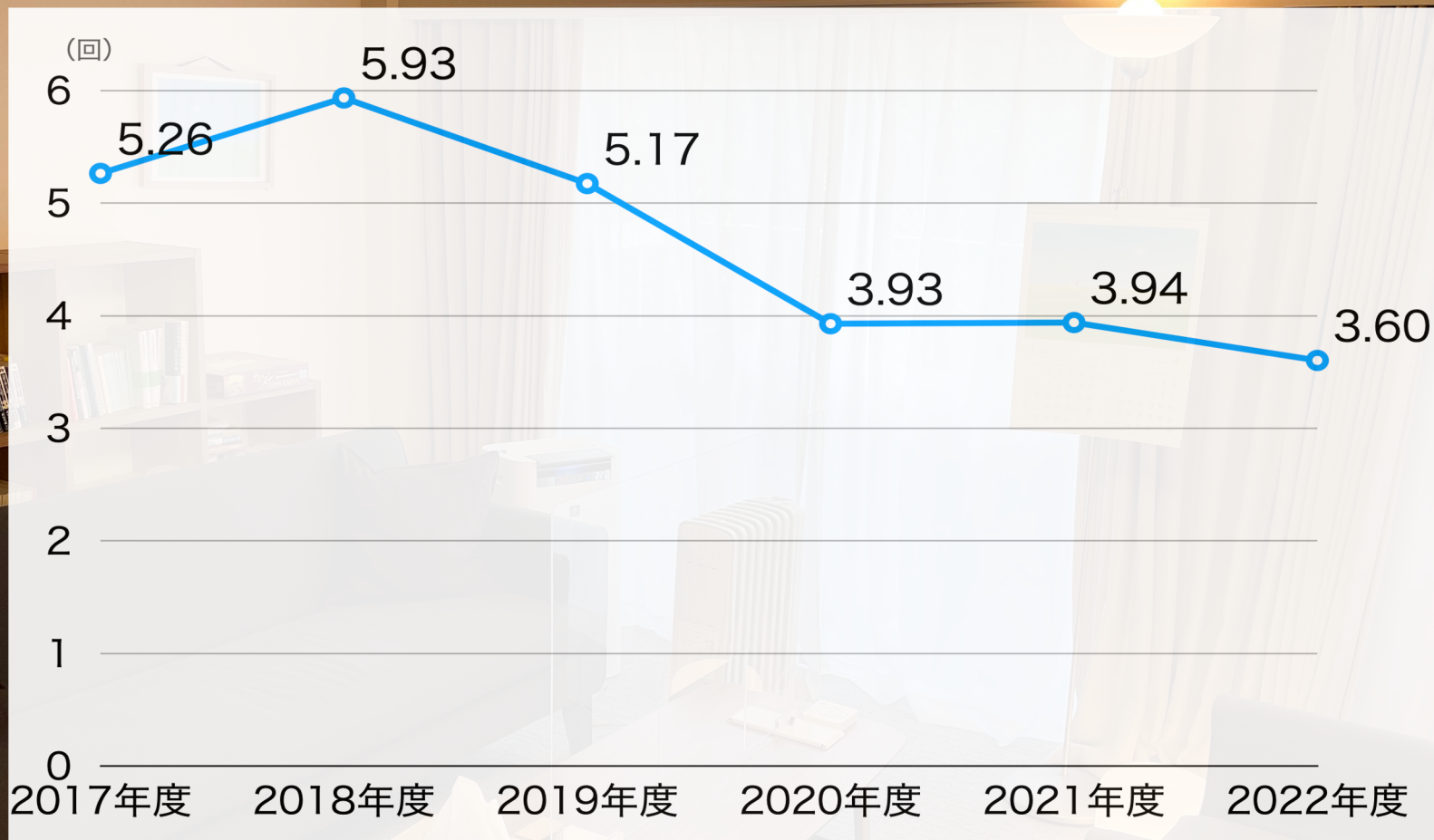
カウンセリング



相談実人数と延面接回数の推移

コロナ禍の学生相談

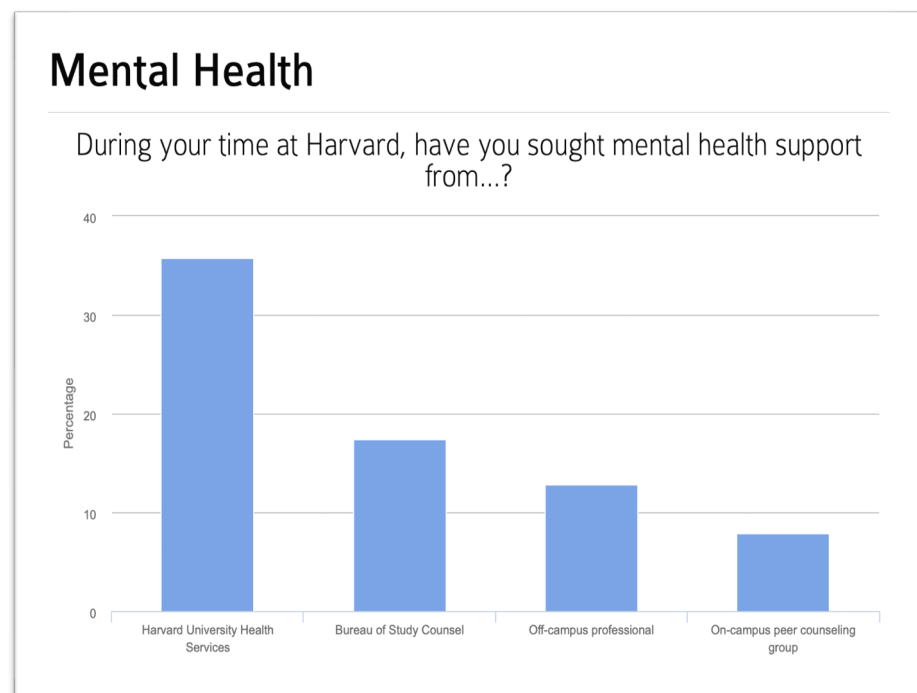
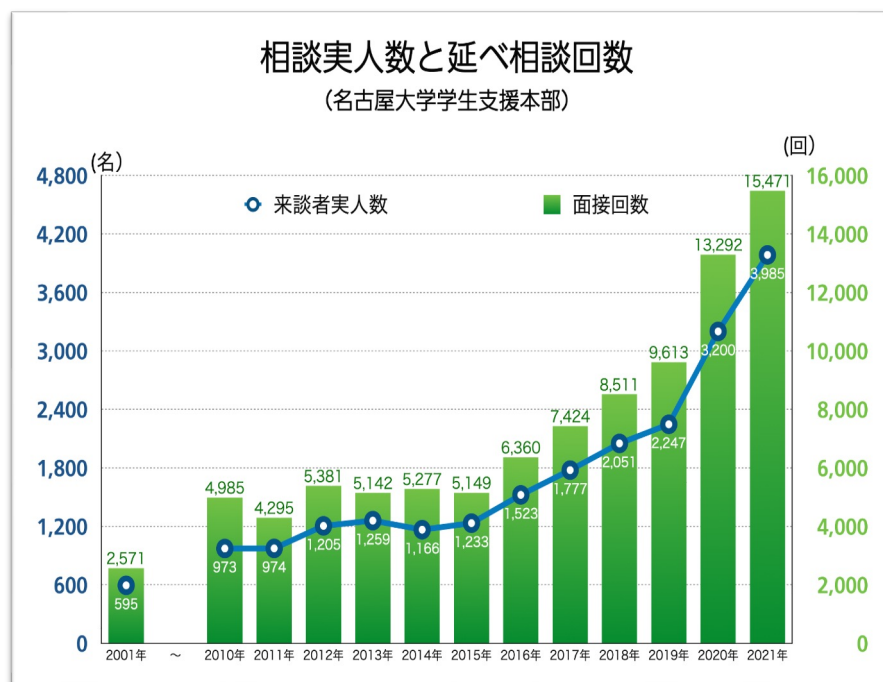
カウンセリング



相談室を利用したことがありますか？

名古屋大学 **25.2%** (3,985名)
(2021年度全学生)

ハーバード大 **73.9%**
(2016年度卒業学部生)



自分の心は自分でメンテナンスする

十 全体会 当日の様子

アメリカ コーネル大学留学中 小林令奈さん(3年生) 現地から参加(時差13時間)

アメリカの状況を紹介
日本へのメッセージ



メッセージ

- ・教職員のみなさま、もっと生徒を信じてみてください！
- ・生徒のみなさん、あなたの考えを実際に伝えてみてください！

コロナに負けず、すてきな大学生活に
していきましょう！

学生相談室の
利用経験があ
る学生、カウ
ンセラーの先生
で座談会

十 分科会 学生相談

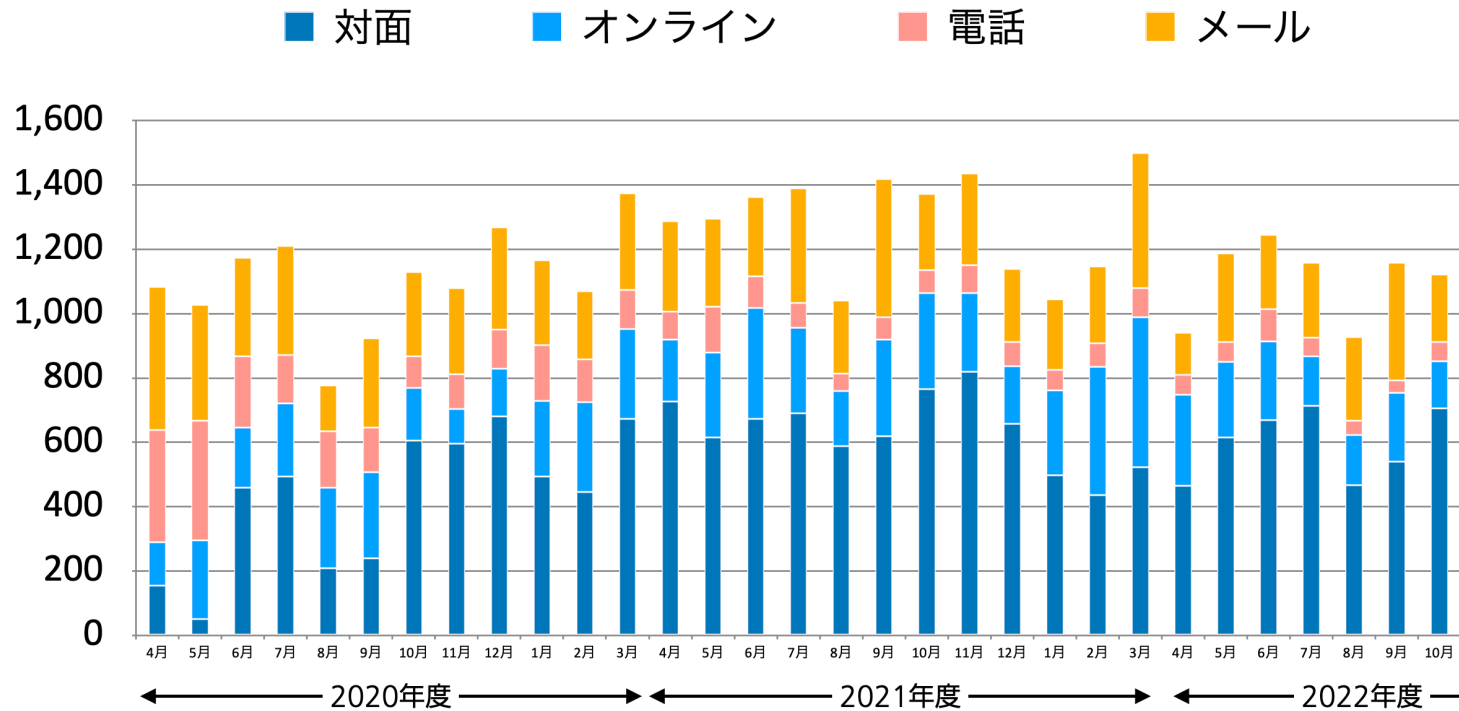
学生相談室の
利用経験があ
る学生、カウ
ンセラーの先生
で座談会

- ・利用したきっかけは？
- ・どうだった？
- ・いつでも気軽に！



学生は顔の見える関係を望んでいる

相談形態の推移 (2020.4-2022.10)
(名古屋大学学生支援本部)



2. 心のアンケート結果からみる 学生メンタルヘルス

コロナ前とコロナ禍の比較

コロナ前

長期休み

発達障害傾向

大学院生



コロナ禍

1

春は適応的、秋に悪化

2

秋は抑うつと不安↑

3

学部3年、修士2年に
要注意



学部3年、修士2年に要注意

全国大学生生活協同組合連合会 2022年「届けよう！コロナ禍の大学生生活アンケート」より

学生生活は充実しているか？

○学年別の傾向が顕著

3年生・・・すべての面での充実度が低い

4年生・・・1年生の時の人間関係がすべて

1年生・・・先輩達の大変さを少し実感

2年生・・・オンライン講義の良さを実感

勉学・授業についてはどうですか？

	1年	2年	3年	4~6年	総計
充実している	22.7%	22.6%	21.5%	31.2%	23.6%
まあ充実している	59.7%	58.1%	56.6%	54.0%	58.0%
充実している計	82.4%	80.7%	78.1%	85.2%	81.6%
あまり充実していない	14.3%	15.7%	16.0%	10.9%	14.5%
充実していない	3.3%	3.6%	5.8%	3.9%	3.9%
充実していない計	17.6%	19.3%	21.9%	14.8%	18.4%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

友人関係についてはどうですか？

	1年	2年	3年	4~6年	総計
充実している	37.9%	36.9%	26.7%	37.0%	35.7%
まあ充実している	45.3%	44.1%	45.3%	41.7%	44.5%
充実している計	83.2%	81.0%	71.9%	78.7%	80.2%
あまり充実していない	13.3%	13.1%	17.7%	14.2%	14.1%
充実していない	3.5%	5.9%	10.4%	7.1%	5.7%
充実していない計	16.8%	19.0%	28.1%	21.3%	19.8%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

サークル・部活についてはどうですか？（サークル・部活に入っていない人を除く）

	1年	2年	3年	4~6年	総計
充実している	43.3%	41.6%	34.3%	35.3%	40.8%
まあ充実している	41.2%	36.3%	40.6%	39.5%	39.7%
充実している計	84.5%	77.9%	74.9%	74.8%	80.4%
あまり充実していない	11.8%	16.1%	16.3%	14.6%	13.8%
充実していない	3.7%	6.0%	8.8%	10.6%	5.7%
充実していない計	15.5%	22.1%	25.1%	25.2%	19.6%
総計	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

3. コロナ禍における 学生メンタルヘルスと学生支援

2020年度

悠然（ひきこもり学生）／憤然（健康な学生）

コロナ発災直後 ・引きこもり学生は悠然と
「自分たちに社会が追いついた」

コロナ1年目 ・健康な学生が憤然と

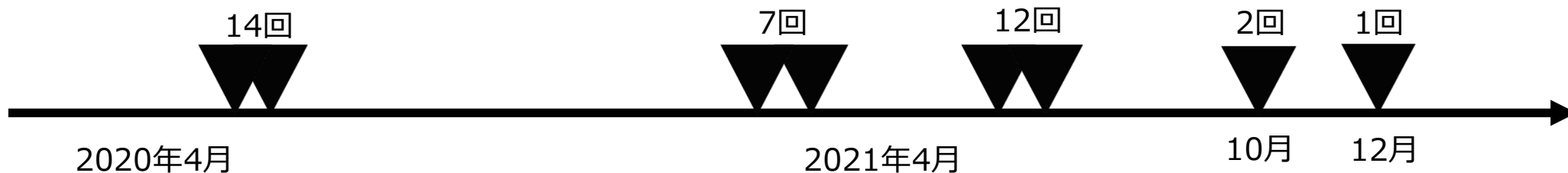
「小学生、中学生、高校生はよくて、どうして
大学生はだめなのか？」

1 次支援の内容

1 次支援の場合

- 1 食料支援（2020年5月～、緊急事態宣言期間）
- 2 総長と名大生との対話（2020年夏）
- 3 学部新入生特別ガイダンス実施（2020年9月、2021年4月）
- 4 全部局への1,2年生対面交流の機会の依頼（2020年秋学期）

① 食料支援（2020年5月～2022年3月、緊急事態宣言期間）
合計36回、延7,075名の学生に配布



* バイト代が減り、食費を切り詰める

* 学生支援本部キャリアサポートセンター長が動く

② 総長と名大生との対話をオンラインで日英の2回開催
(2020年夏)



2020年4月

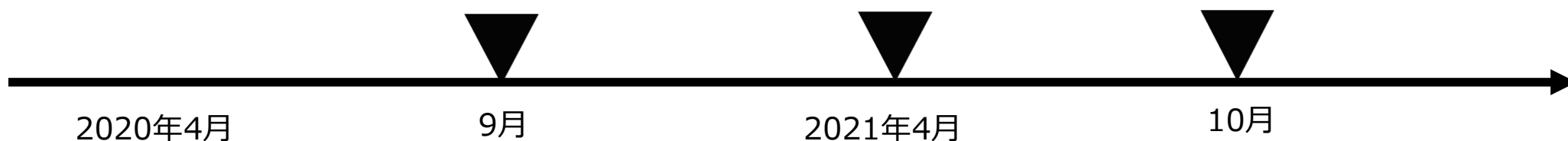
8月 9月

2021年4月

* 主体的な学生による訴えが扉を開く

③ 学部新入生特別ガイダンス実施

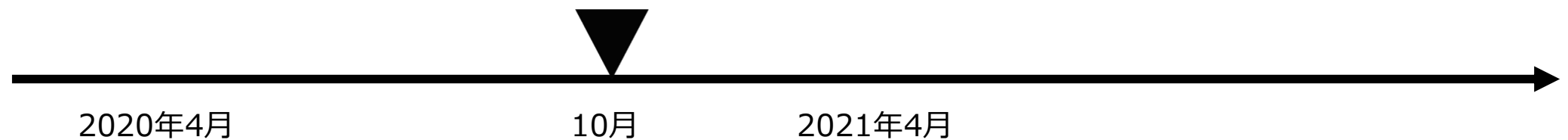
総長・部局長ビデオメッセージ。担任交流
(2020年9月、2021年4月)



- * 「名大生」になった自覚がない
- * 宅浪ではないし、ニートでもないし……

④ 全部局へ1,2年生対面交流の機会を依頼

(2020年秋学期)



* 大学院生の適応は良好

* 一方、弱者である学部1,2年生が置き去りに……

2021年度

当然と偶然の喪失

コロナ2年目

- 当然のことが当然でなくなる
 - ▶ 部活やサークルの伝統が…
 - ▶ 研究室があるの？
 - ▶ 先輩がいるの？
 - ▶ 「論文」なんて…
- 偶然がなくなる
 - ✖ キャンパスでの出会い、授業の合間の雑談
 - ✖ 友だちと出会ったので予定変更

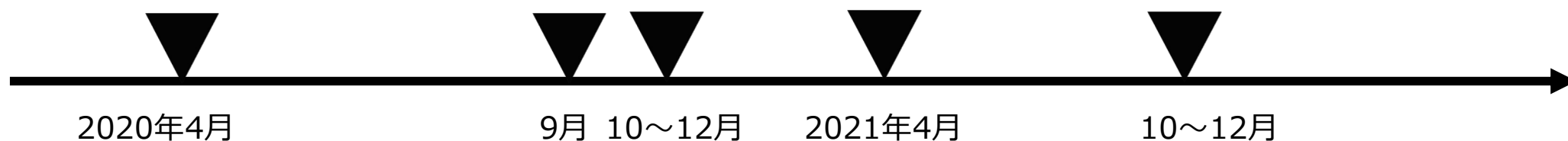
1 次支援の内容

1 次支援の場合

-
- 5 心の健康アンケート実施／FD実施（毎年）
 - 6 クラス活性化支援（2020年12月、2021年9月）
 - 7 SNS、Twitter、YouTube等を利用した情報発信
 - 8 部局連携：声かけと気になる学生支援（2020年秋学期）
全学生の個別面接（2021年秋学期）
 - 9 全学保護者宛手紙の郵送（保護者相談の案内）（2021年秋学期）

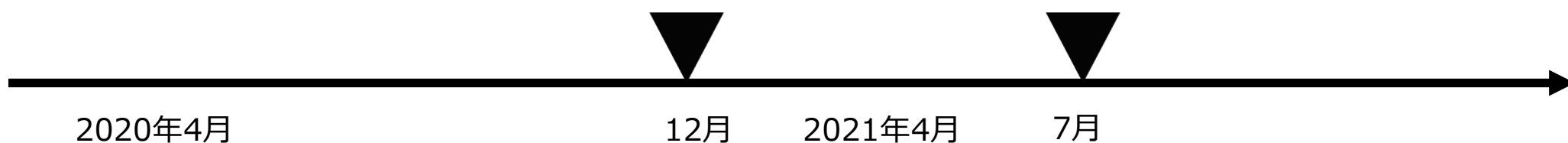
⑤ 心の健康アンケート実施。

結果はFDにて全部局と共有（コロナ前より実施）



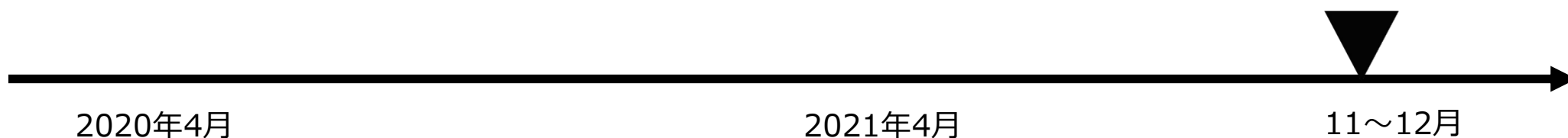
⑥ クラス活性化支援

(クラス結成支援、クラス長会の開催、クラス会開催支援)



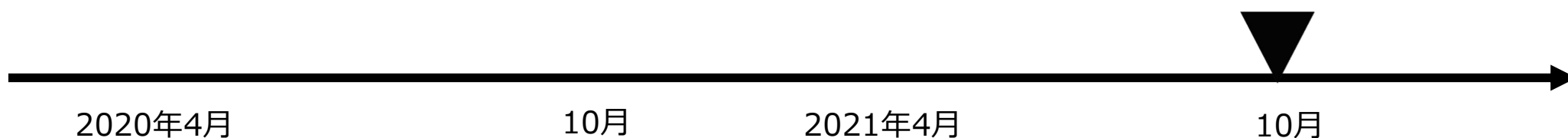
8 部局連携：全学生の個別面接実施依頼

2021年度に入り、緊急対応事例の増加



- * 漠然とした不安、抑うつを訴える学生の増加
- * 不適切な形で自主性が表出される

9 全学保護者宛手紙の郵送（保護者相談の案内）（2021年秋学期）



* SOSを発することのできない学生に代わって
保護者からの相談を求める

2022年度

日常の回復（ウィズコロナ）

コロナ3年目

- 全員面接による落ち着き
- 日常の回復傾向
- B3とM2の苦悩
- 「感染防止策の徹底とはすなわち、キャンパスにおける偶然の出会いや多様な生の経験をできるだけ排除することでも」（日本学生相談学会 高石恭子理事長）

2022年度

支援課題

- 人間関係をいかに構築するか

- ブレイクアウトルームで沈黙が続く
- 入学して3年になるが一度も話したことがないクラスメイトがいる
- 大学3年になったにも関わらず、校舎の位置がわからない時がある

- 偶然が生まれるキャンパスをいかに作るか

- 新歓で関わった新入生に学食で話しかけられた
- 留学生にいきなり声をかけられ、仲良くなった
- 留学生に尋ねられ、英語が話せなくて答えられなかった
- 留学生から北部生協の場所を聞かれた
- キャンパス内で話してたまたま仲良くなった人が、よくよく話してみると同じ小学校出身だった
- 友達になった人が友達の知り合いだった
- 学食で松葉杖をついてる人を助けたら偶然同じ学科で自分の評判が上がっていた

2022年度

人間関係の構築 × 偶然

2次支援

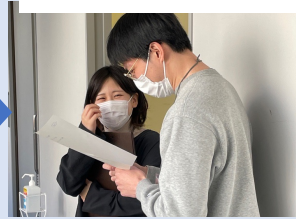
「Compus (Communication on Campus)」の実施

- 週末
- 5時間
- 感染拡大時はオンライン

企画会議



インタビュー



発表



- 学期中
- 1コマ (1.5時間)

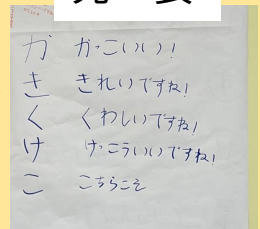
インタビューと他己紹介



グループワーク



発表



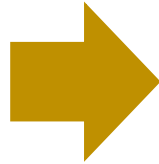
2022年度

人間関係の構築 × 偶然

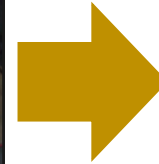
2次支援



コロナ前



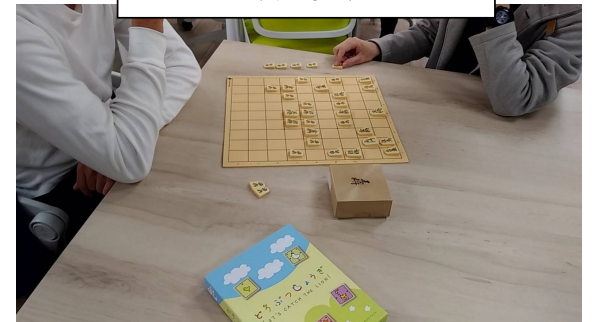
コロナ禍
(緊急事態宣言)



コロナ禍
(現在)

グループ活動

- ボードゲーム、将棋、インドアなど
- オンラインから再び対面へ



2022年度

人間関係の構築 × 偶然

2次支援

「夕方さんぽ」の実施

＊夕方2時間、キャンパスを散歩

＊3人一組。テーマに沿ってトーク。



誰かと想いを通わせるおさんぽをしてみませんか？
誰かと話をしたい方、もよもやすることがある方、
散歩が好きな方、誰でも大歓迎のイベントです。

2022年
12月22日(木)
夕方さんぽ

夕方さんぽは、自分のことを話しながら、色んな人の話を聞きながら、すっかりあたたかい気持ちになるウォーキングイベントです。
トークテーマに沿って誰かと心をかよわせながら歩いてみませんか？

開催日時：2022年12月22日(木) 16:30～
開催場所：東山キャンパス 学生支援棟
対象：名古屋大学の全学生・先着30名程度
服装等：歩きやすくあたたかい格好・持ち物
申込み：12月21日(水)までに下記の応募フォームから
<https://forms.gle/CyAJuLhXz8gtL2n58>

～ 参加者の声をご紹介します ～
・自分のことを話せたので少しすっきりしました。他人の話を聞くのも、自分の世界が広がってよかったです。
・こー続した2人とともにとても聡明な方で、充実感が泣きそうになりました。

詳細・申し込み



タイムスケジュール	
16:15	受付開始
16:30	オープニング ・夕方さんぽについての説明 ・ルール、歩き方の説明
16:40	夕方さんぽスタート ・3～4人で1チーム ・トークテーマに沿って会話 ・名古屋大学を自由に散歩
18:15	チェックアウト
18:30	解散



主催：名古屋大学学生支援本部
協力：Love Life Project (名古屋市長の「ナゴヤをつなげる30人」で発足したプロジェクトです。)

2022年度

人間関係の構築 × 偶然

2次支援

生協食堂の協力
部活後に閉店後の食堂で「食トレ」



5. まとめ

- 教職員の声かけが、学生の生命を守る。
- 「当たり前前のが、もはや当たり前ではない」という感覚を、学生との間で共有していけるように。
- 生命をつなぐ食は、人との関係もつなぐ。青年期における人との関係の断絶は、生命の断絶を意味する。

5. まとめ

- 人間関係をいかに構築していくか
- 偶然を自然に演出する
- 青年期を応援する
 - 「出会いを恐れる人たち」 (Akeret,R., 1965)
 - 「傷つきやすさ、脆さ、崩れやすさ」 (Spiegel,S., 1989)
 - 「問題を感じているのではなく、問題の中に巻き込まれていると感じている人たち」 (Kantor,S., 1995)

5. まとめ

➤ 遊び感覚を用いる

「重荷の軽減は、正当性を問われない、体験の中間領域によってもたらされる。この中間領域は、遊びに“夢中”になっている小さな子どもの遊びの領域と直結している」（児童精神科医ウィニコット）

